

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	153	
事務事業名		地域エネルギーマネジメント事業	会計	一般会計		
			事業区分	政策	実施区分	
			開始	H21	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画		10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる		
			12	リニア時代を支える都市基盤を整備する		
	分野別計画	飯田市環境基本計画(21'いいだ環境プラン)				
		第2次飯田市環境モデル都市行動計画改訂版				
法令・例規等	飯田市環境基本条例					
事業目的	対象	市民、事業者				
	意図	市民、事業者が小水力発電事業を推進し、売電収益を活用した持続可能な地域づくりを実施します。また、リニア時代にふさわしい低炭素な社会づくりを推進します。				

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	<p>小沢川小水力発電は、かみむら小水力株式会社が新たな施工業者である(株)シーテックとの詳細設計を進めるために、前年に引き続き経営会議に参画しながら側方支援を実施しました。また、各種許認可を具体的に進めるために、長野県が実施した「小水力キャラバン隊」に参加し、今後の進め方について整理を行いました。</p> <p>リニア駅周辺低炭素街区は、移転街区に対する「環境共生住宅」補助制度を確定後、該当者全員に対して個別訪問を実施し、制度の周知を行いました。</p>		<p>小沢川小水力発電事業化支援 2,543</p> <p>リニア駅周辺低炭素街区の構築 0</p> <p>その他の経費 0</p>								
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	かみむら小水力(株)経営会議への参画	回	48	48	12	13	12	12	12	2	
	リニア駅周辺エネルギー自立可能性調査実施	回	1	1	-	-	-	-	-	-	
	リニア駅周辺整備検討回数	回	5	6	5	15	5	5	6	4	
	リニア移転街区低炭素化の検討	回	1	1	1	1	1	1	3	13	
	新たな小水力発電事業の検討	回							1	1	
2年度決算(千円)	予算額	2,662	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	2,543									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	2,543										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	5	224	105	地域エネルギーマネジメント事業費
2	1	4	1	5	1	3	2,438	2,438	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		<p>天竜川上流河川事務所砂防堰堤工事が令和3年10月着工であることが判明したため、導水管理設工事が同調できるよう、かみむら小水力株式会社の側方支援をしながら工期に合わせたスケジュール管理を行うことが必要です。</p> <p>リニア移転街区の補助制度は多岐にわたり添付書類も多いため、該当者への丁寧な説明はもちろんのこと、施工事業者に対しても引き続き制度の周知を図り、「環境共生住宅エリア」を構築していくことが必要です。</p>							
上記の課題解決のための有効策		<p>令和3年12月期限のF I T申請から逆算しながら、事業の進捗状況の確認及び課題の整理を定期的に行い、天竜川上流河川事務所の事業スケジュールに遅れることなく事業が進められるようかみむら小水力株式会社の側方支援をします。</p> <p>リニア移転街区の補助制度の狙いと制度が分かるよう、チラシの作成等も含め、わかりやすいアプローチが必要です。</p>							
次年度に向けての取り組み		<p>12月にF I T申請が完了するよう、引き続きかみむら小水力株式会社を側方支援していきます。</p> <p>リニア移転街区の第2次募集への応募者に対しても、新築住宅が環境共生住宅となるよう、街区が決定次第補助制度の周知を行います。</p>							